



平成25年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「児童福祉センター増改修計画」  
引渡式

2016年1月12日、パナマ県パナマ市ジャノス・デ・クルンドゥ地区内において、「児童福祉センター増改修計画」の引渡式が行われ、磯部大使をはじめ、エドウィン・メディナ社会開発大臣代理、イサック・アテンシオ・パナマ市長代理、イダリア・マルティネス大統領府子ども青少年家族局局长、ジェニー・バーブ児童のための団結財団代表他関係者が式典に出席しました。

「児童のための団結財団」は、家庭内暴力や性的虐待を受けた児童の保護・心のケアを主な目的として活動しています。同団体は2005年から「児童福祉センター」を開設し、センターを利用する児童及びその家族を対象としたカウンセリングやセラピーを行っていましたが、十分な活動スペースが確保されていませんでした。この度、日本政府は、今回の計画にてセラピールーム、多目的スペース、野外実習室等の増築、既存施設の改修及び家具の整備を支援しました。

今回の供与により、同センターの子どもたちに適切なケアが実施され、パナマの発展の一助となることを期待しています。

【供与額：100,848.00ドル】



出席者との集合写真



建設された野外実習室



テープカット



記念プレート